

大阪市生物多様性戦略について

● 2050年めざすまちの姿「生物多様性の恵みを感じるまち」●



●「生物多様性の恵みを感じるまち」に向けた取組みの方向性●

「生物多様性の恵みを感じるまち」を実現していくためには、市民・環境NGO/NPO・事業者・研究機関・教育機関・行政などが生物多様性を意識した上で、様々な取組みを推進するとともに、情報発信していくことも重要です。

生物多様性に関連する様々な主体が集い、情報共有を行い、つながりを拡大・強化していくため、花博記念公園鶴見緑地にある環境活動推進施設(愛称「なにわECOスクエア」)や既存のネットワークの仕組みも活用しながら、より多くの人々に生物多様性の意味を知り、自然や生き物を身近に感じてもらえるよう、各主体が行う取組みの情報発信を積極的に行っていきます。

大阪は生態系サービスのもたらす恵みの消費地であり、生物多様性の主流化を図ります。

生物多様性の状況についての情報発信、多方面との有機的なつながりを強化します。

一人ひとりが生物多様性の問題を認識し、これを解決するための行動変容を促進します。



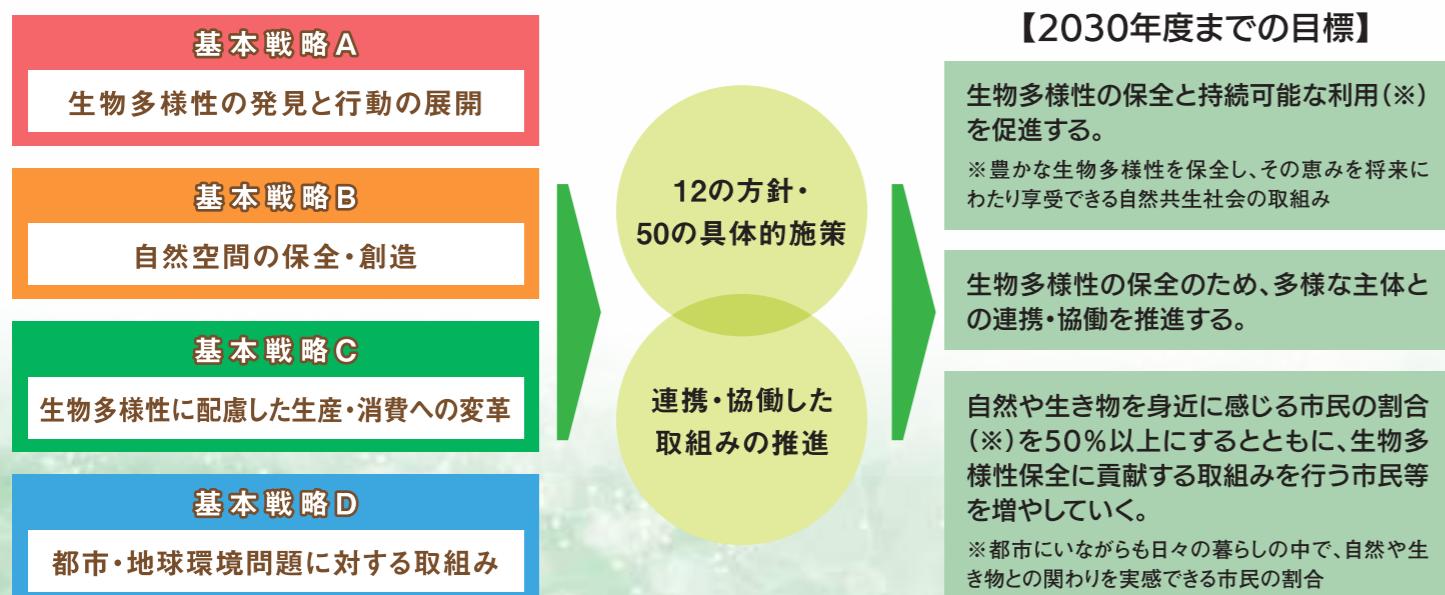
大阪市では…

市ホームページをはじめ、大阪市環境学習情報サイト「なにわエコスタイル」やSNSでの情報発信を行っています。



「小学校での生き物さがし」の様子

● 2030年度までの目標達成に向けた4つの基本戦略 ●



● 大阪市生物多様性戦略推進の概念図 ●

